

5項目についてききただしたところ、下記のごとき結果がみられた。

— 防ぎよ姿勢 —

ア 小学校

項目	地域		都 市				農 村				計			
	性別		男子		女子		男子		女子		男子		女子	
	N・%		N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
1.自動車にのる			0		0		2	1.7	1	0.7	2	0.8	1	0.4
2.知らない人にのらない			121	85.8	133	98.5	84	69.4	125	88.7	205	78.2	258	93.5
3.判断してきめる			15	10.6	2	1.5	24	19.8	13	9.2	39	14.9	15	5.4
4.その他			5	3.6	0		11	9.1	2	1.4	16	6.1	2	0.7

イ 中学校

項目	地域		都 市				農 村				計			
	性別		男子		女子		男子		女子		男子		女子	
	N・%		N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
1.自動車にのる			4	2.7	0		9	6.2	2	1.6	13	4.4	2	0.7
2.知らない人にのらない			117	78.0	140	93.3	91	62.3	97	80.2	208	70.3	237	87.5
3.判断してきめる			17	11.3	8	5.3	34	23.3	18	14.9	51	17.2	26	9.6
4.その他			12	8.0	2	1.4	12	8.2	4	3.3	24	8.1	6	2.2

ウ 高校

項目	地域		都 市				農 村				計			
	性別		男子		女子		男子		女子		男子		女子	
	N・%		N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
1.自動車にのる			22	14.9	0		29	30.2	3	2.5	51	20.9	3	1.1
2.知らない人にのらない			55	37.2	124	85.5	23	24.0	93	78.2	78	32.0	217	82.2
3.判断してきめる			56	37.8	12	8.3	35	36.5	19	16.0	91	37.3	31	11.8
4.その他			15	10.1	9	6.2	9	9.3	4	3.3	24	9.8	13	4.9

小学生は知らない人の車には乗らないという意識が男・女子によく見られるし、特に女子が93.5%（平均）いるし、中・高生といくにしたがって防ぎよ態度が減少してくるが、反面判断してきめる生徒が多くなってきているのは、年齢差かと考えられる。

中学生男子の4.4%と高校男子の20.9%が乗ってみるとい意見がでてくるのは、低年齢のものほど乗らないで、高年齢になるにつれて判断してきめる状況で上昇カーブは、上学年にあらわれる。

女子82.2%で、男子の32%にくらべ、高校生で

も乗らない者が、2倍強で慎重な態度である。

判断してきめる割合も、女子11.8%で男子は37.3%の3倍強で、逆結果がでているのは注目させられる。

それは男子の積極的関心のあらわれを示すもので、性別差がでたのであろう。

ただ都市と農村の地域差はあまりみられない状態である。

6. ま と め

男女共学を終ってきた現在の生徒たちは、社会